

復興支援フォーラムニュース No.13

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫(tkonno67@gmail.com) 中井勝己(024-548-8313)>

震災後の福祉・介護の現状と課題

福島県社会福祉協議会
前常勤副会長 岩下 哲雄

はじめに

東日本大震災及び原発事故から1年余が経ちました。過去に例のない異例異常な事態に遭遇し、今なお16万人に及ぶ県民が県内外での避難生活を余儀なくされ、将来が全く見通せない、そして光や希望を見いだすことが困難な現況にもがき苦しんでいます。さらに、農林漁業、観光業、製造業、教育や医療など他の分野同様、福祉・介護の分野もまた極めて厳しい状況下にあります。

現在、政府において「社会保障と税の一体改革」に向けた動きが加速しつつある中で、福祉・介護に関わる課題はもとより広範かつ複雑多岐にわたりますが、ここでは、「3.11」以後の大まかな経緯と福島県社会福祉協議会（県社協）の取り組み、並びに福祉・介護が抱えている当面の課題について、「震災(原発)」を切り口とした内容に限定しながら、以下、報告します。

I 大震災発生後の経過と県社会福祉協議会の対応

1 震災による被害状況

2 政府による避難等の指示

3 区域設定

4 原発事故による避難状況

- (1) 行政機能（役場）の避難
- (2) 市町村社協の避難
- (3) 県民の県内避難
- (4) 県民の県外避難
- (5) 社会福祉施設の避難

5 福島県社会福祉協議会の対応

- (1) 県災害ボランティアセンターの設置
- (2) 市町村災害ボランティアセンターの設置
- (3) 他都道府県社協等からの支援
- (4) ボランティア活動
- (5) 救援物資・寄付金の受け入れと配布・配分
- (6) 緊急小口資金等の貸付
- (7) 原子力損害に関する支援活動
- (8) 県議会に対する活動
- (9) 県・市町村生活復興ボランティアセンターへの移行
- (10) 応急仮設住宅入居者等への支援

II 震災後の福祉・介護の課題

1 被災・避難者支援に関する課題

- (1) コミュニティ崩壊の影響と新しいコミュニティでの生活課題
- (2) 世帯分離の進行によって懸念される訪問福祉課題
- (3) 仮設と借り上げ住宅避難者への支援格差（住民間の格差意識）

2 社会福祉施設に関する課題

- (1) 施設の帰還と再整備
- (2) 福祉人材の確保

3 その他の課題

終わりに

~~~~~  
【予告】

【第12回 ふくしま復興支援フォーラム】

日時 5月23日(水) 18時30分～20時30分(予定)  
会場 福島市アクティブシニアセンター(AOZ)大活動室1  
報告者 小山 良太 氏(福島大学)  
テーマ 「福島県農業の再生に向けての現状と課題  
ー農地の汚染マップと体系立てた安全検査ー」

~~~~~

第10回ふくしま復興支援フォーラム（4月26日）のご意見等

- ★ 浜通り地区に関する医療機関の復旧は必須であり、優先すべき課題だと思います。現在、福島県内に新規雇用を創出する設備投資を行う事業者への補助金制度などもあります（県の補助金）、医療機関の再建のための補助制度の導入などをはたらきかけていくべきではないでしょうか。（K.S）
- ★ 福島県の復興においては、原発事故というキーワードは避けては通れないかもしれませんが、原発事故の影響の調査・報告をどう今後活かしていくのか？その提言を示す時期に来ているのかなとも思います。もうひとつは、若い世代（10年～20年後）の福島県を担う人たちに向けて、いま何が出来るのか？若い世代は何を求めているのか？このフォローをすることが、福島県の人口流出を防ぐことになるのではないかと思います。（Y.M）
- ★ 医療機関の当初の避難や、「メディカル・メガバンク構想など、他では知ることのできないことを教えて頂きました。有難うございました。（M.K）
- ★ 大震災・原発事故発生以降の医療関係者の現状と苦悩の実態について、知ることができました。（K.F）
- ★ 福島原発事故の現場の医療・介護施設で、放射能の健康被害以上に避難指示による無理な避難と、医療・介護者自身の避難による介護する側の減少、物資が滞ることの問題等。万が一、次の事故が起こった場合、決して起こってはならないことが、一般の人、特に福島県外の人にもっと知ってもらうことが絶対に必要だと思います。（K.Y）
- ★ お世話になりました。ありがとうございました。（J.M）
- ★ 毎回スライドで使った資料を、紙かデータで頂けたらいいですね、というか欲しいです。（T.H）
- ★ チェルノブイリで見られた事例（汚染された食物を摂取して数値が高くなる大人）が、この福島で見られたことに、今度生活する上での注意点を見つけた気になりました。（Y.I）
- ★ 非常に実のある内容でした。ありがとうございました。（A.O）
- ★ 今後の被曝被害の発症など予想等に対する医療体制は？しかし、極めて専門性が高い医師や医療専門家だけに委ねるわけにもいきません。Community や他の分野との連携（や primary care の重視）の拡がりを考えていく必要もあるのではないかと。余り根拠のある考え方ではないのですが、地域力などが、どう成長するかと気になっているものですから。（H.S）

★ 様々なところで、“復興・再生”という言葉が、よく使われているが、もともと地域で一人ひとりの住民が暮らし続けることが実現できるような保健・福祉・医療をはじめ、システムがあったのだろうか、と思う。今回の震災によって、ではない前々からの課題の話なのだろうと思いますが。(M.K)

★ 実に内容豊かな報告であった。1時間の報告ではもったいない。何回かに分けて(続けて)報告いただければありがたい。／もう少し早めに始め、8時過ぎに終わるような時間設定を希望します。(S.I)

★ 仙台市在住ですが、今野先生のお知らせで参加させて頂きました。私の区内で原発ゼロをめざす運動を構想中ですが(医療専門家の皆さんにも相談しておりますが)、松本先生の丁寧なお話で、保険医協会・民医連はじめ、地域の病院関係者の知恵、力を、思い切ってお借りする(働きかける)意を、ますます強くしました。何よりも、このようなフォーラムをしっかりと続けておられること敬服しました。何とか、仙台市でも、努力してみます。(H.D)

~~~~~  
**【ご投稿のお願い】**

昨年11月29日に第1回の「ふくしま復興支援フォーラム」を開催してから、ほぼ半年を経過し、12回目のフォーラムのご案内をさしあげる段階に参りました。

この間、福島県復興ビジョン、原発被害と地域社会の問題、損害賠償の問題、双葉郡の住民実態及び仮設住宅問題、食品の放射線物質規制の問題、教育問題、医療問題、復興再生特別措置法案の問題等々、広範囲に生じている諸問題について報告をいただき、活発なご意見の表明をいただきました。

毎回30人から40人の方々、いずれかの回の企画参加としては、100名以上の方々に参加をいただいています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

今後も、皆様のご意見をいただきながら、各分野の現状と解決が求められている課題について継続して取り上げていきたいと思ひます。それとともに、福島県の復興の全般的な方向についても、議論を重ね、県民に問題提起をしていく必要があるのではないかと考えています。

つきましては、福島県の復興に向けたご意見や、ご提言を、このニュースやホームページに掲載していきたいと考えていますので、ご投稿をお願いします。(匿名で構いません)

ご投稿は、以下のメールアドレスまでお願いします。

メールのテキストとしてでも、また添付ファイルとしてでも構いません。

よろしくお願ひします。ご投稿をお待ちしています。(今野順夫)

今野順夫宛 (フォーラム事務担当) / 投稿先アドレス: [tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com)